

6 観光資源としての菜の花

菜の花は比較的丈夫なため、観賞用としても栽培しやすい植物です。春、一面に広がる菜の花畑は壮観であり、大きな集客効果を持つ観光資源となります。

愛知県内で取り組まれている事例としては、田原市観光協会が行っている「渥美半島菜の花まつり」が挙げられます。

このまつりは、毎年1月から3月にかけて行われ、渥美半島の特産品の販売や菜の花狩りが行われます。さらに、菜の花畑がライトアップされ、夜空に浮かぶ菜の花畑をとっても幻想的に見ることができます。

また、名古屋の南に位置し、伊勢湾と三河湾に挟まれた知多半島においても、「観光農園花ひろば（南知多町）」における食用菜の花狩りや矢田川沿い（常滑市）に植えられている菜の花が楽しめます。

観光資源としての菜の花は、見るだけでなく、作付けから摘み取りまでの体験、料理をして食する等、様々な楽しみ方ができます。

さらに、産業観光施設や歴史的にゆかりのある名所・旧跡などを組み合わせることにより、より効果的な集客が期待できるのではないのでしょうか。

